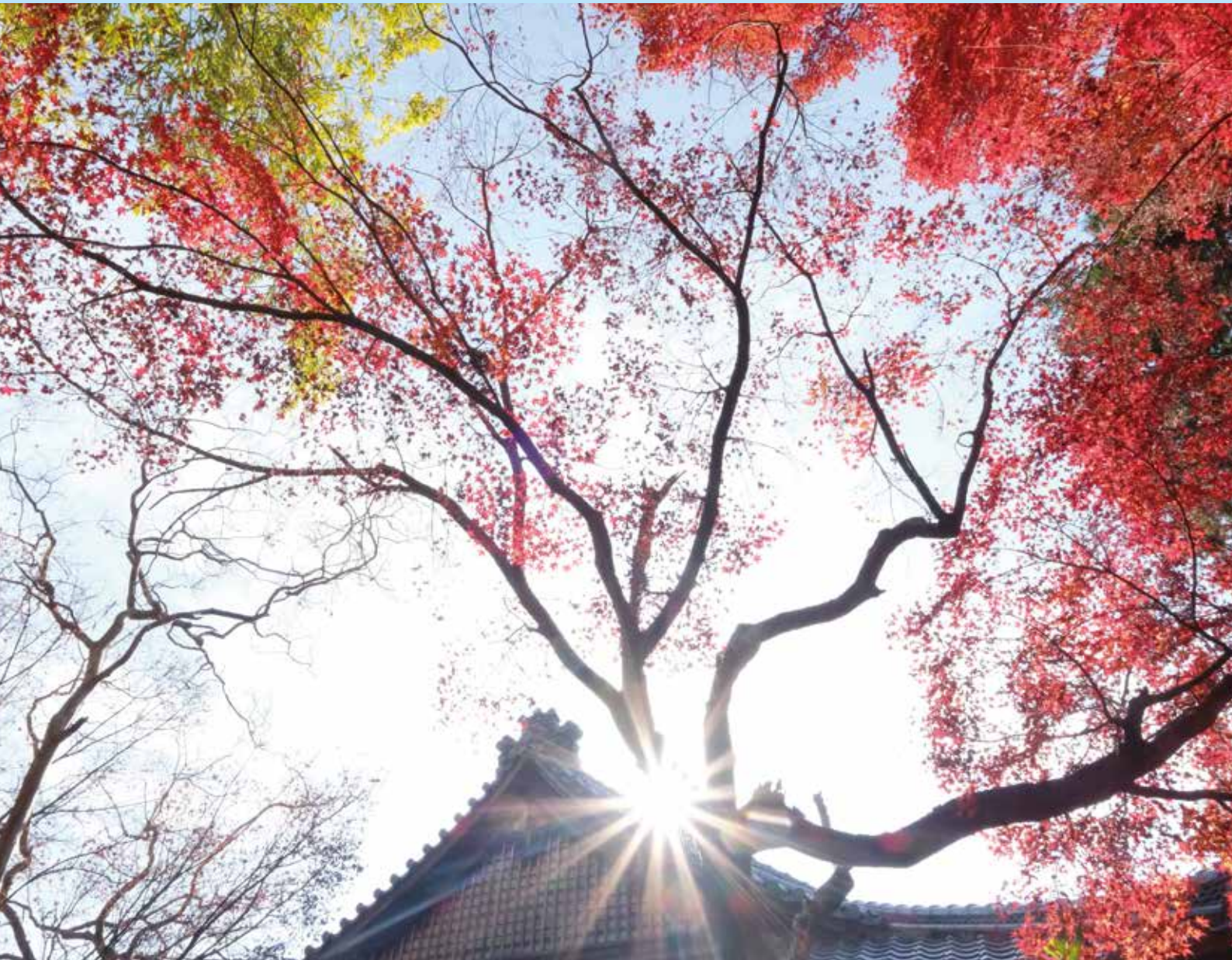


つ市議会だより

第 78 号

令和7年9月1日

令和7年第2回津市議会定例会……………	2
議決結果一覧表……………	15



ばんしょうざん えんこう じ

「萬松山円光寺の紅葉」

津市河芸町上野にある萬松山円光寺は、延文3年(1358年)に後光厳天皇ごこうごんの勅願ちよくがん寺として開創され、足利將軍家の祈願寺として栄えました。また、大河ドラマ『江～姫たちの戦国～』を機に、江姫ゆかりの寺としても広く知られるようになりました。6月中旬には沙羅双樹しゃらそうじゆ、11月下旬には紅葉の見頃を迎え、いずれの時期も県内外から数千人が訪れる撮影スポットとなっています。



令和7年第2回津市議会定例会

令和7年第2回定例会が、6月9日から7月2日までの24日間、開催されました。



開会日の様子

議案質疑 一般質問

今期定例会では、6月16日から19日までの4日間にわたり質疑・質問を行いましたので、その主な内容をご紹介します。各議員の発言時間は、一人一律60分以内で、問答の項目は、質疑・質問の中から各議員が選んだものを掲載しています。

会派代表質問

- 3ページ……田矢 修介（希望の風）、坂井田 茂（津教育未来）
- 4ページ……堀口 順也（公明党議員団）、長谷川 植（未来開拓）
- 5ページ……吉川 一正（津市創成）、倉田 寛次（津和会）
- 6ページ……中野 裕子（津・無所属）、福田 慶一（市民の声）
- 7ページ……田中 勝博（一津会）、石川 禎紀（津みらい）
- 8ページ……桂 三発（一期一会）、八太 正年（自由民主党市議団）
- 9ページ……滝 勝弘（日本共産党津市議団）

個人質問

- 9ページ……青木 秀晃
- 10ページ……中田 耕平、柏木はるみ
- 11ページ……小島 晴美、佐藤 知子
- 12ページ……保田 勝平、岩脇 圭一
- 13ページ……佐藤 有毅、藤田 定彦
- 14ページ……山路小百合

会派の構成

津みらい

石川 禎紀 伊藤 哲也
藤田 定彦 ☆柏木はるみ
田中 千福 岩脇 圭一
吉田 博康 ◎ 佐藤 有毅

津和会

佐藤 知子 ◎ 保田 勝平
☆青木 秀晃 川口 和雄
辻 美津子 倉田 寛次

津市創成

☆中田 耕平 ◎ 吉川 一正
山路小百合 小野 欽市

公明党議員団

◎ 堀口 順也 安積むつみ
☆小島 晴美 青山 昇武

日本共産党津市議団

◎ ☆滝 勝弘

一期一会

◎ ☆桂 三発

津市民の会

◎ 渡辺 晃一

一津会

◎ 田中 勝博

津教育未来

◎ 坂井田 茂

未来開拓

◎ 長谷川 植

市民の声

◎ 福田 慶一

希望の風

◎ 田矢 修介

自由民主党市議団

◎ 八太 正年

津・無所属

◎ 中野 裕子

◎代表者 ☆議会だより編集委員
令和7年第2回定例会時点



問 津駅周辺基盤整備のビジョン（案）について問う

津駅周辺基盤整備ビジョン（案）が、令和7年5月9日開催の津駅周辺道路空間再編検討委員会や5月15日開催の全員協議会で示され、その中で官民連携によるにぎわい・滞留空間創出の考え方について課題と目標が掲げられている。ビジョンの実現に向けて、駅周辺の活性化や駅舎そのものの大きな変化などが市民や利用者から期待されていると思うが、その取り組みの考えは。

答 国・県と連携しながらにぎわい・滞留空間創出に取り組む

現在、国・県と連携し、津駅周辺におけるバスプロジェクトをはじめとする道路空間再編に向けた検討を進めており、この取り組みを50年ぶりに津駅周辺のまちづくりを進めるチャンスと捉え、官民連携も含めた施策により地域の活力を引き出し、都市拠点としての魅力向上を目指すとする目標を掲げている。今後、交通ターミナルと一体となった複合建築物の整備が可能であれば、都市拠点としての魅力が一層向上するものと考え、民間事業者へサウンディング調査を実施してその可能性を追求し、県道におけるほこみち制度活用も含め、にぎわい・滞留空間の創出に取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 津駅西口駅前広場基本計画について
- 利用者の安全は十分に担保されているか
- 大規模災害時の応急給水について
- 優先順位の考え方や人工透析施設への対応は
- 災害医療対策について
- 避難所における避難者の健康管理・情報管理は
- コールトリアージなど津市消防の対応は

駅舎の建て替えも期待され、生活に身近なスーパーなども強く望まれている



問 学校施設における不審者侵入防止のチェック体制は

2001年に大阪府の小学校内で起きた殺傷事件を契機に、不審者侵入による被害を防ぐため、国内全ての学校であらゆる対策が講じられてきた。

しかしながら、学校への侵入事件が後を絶たないことから、校門から校舎入口までの不審者侵入防止のチェック体制の在り方と不審者侵入の抑制効果が期待できる「来校者誘導ライン」設置についての考えを問う。

答 安全対策の充実について、各学校に周知徹底していく

不審者については、各学校の実情に応じて作成する危機管理マニュアルを基に、校門を閉める、入口に案内および誘導を表示する、来訪者には玄関で受け付け名簿に記入させる、来訪者に名札を着用させるなどの方法により早期発見および侵入防止に努めるとともに、教職員による日常的な校内巡回や来訪者への声かけなども実施しているが、これらの対策が徹底されていない学校も見受けられることから、校長会などを通じて安全対策の充実について周知徹底していく。

なお、「来校者誘導ライン」の設置については、現在のところ考えていない。

その他の質疑・質問

- 災害用移動式トイレ車両1台購入の概要は
- 津市立三重短期大学における取得可能な資格・免許に関して
- 教員免許の取得について
- 津市立三重短期大学の学費に関して
- 会計年度任用職員等の報酬単価に関して
- シェアサイクル実証実験に関して

神奈川県藤沢市の全小中学校に設置された「来校者誘導ライン」は、不審者侵入防止策の一つ





問

「LINEショップカード」を使った健康ポイント制度を

厚生労働省の「健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023」には「個人差を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組む」とある。津市第4次健康づくり計画にも、青壮年期の重点的取り組みに「日常生活の中で意識的に体を動かします」とあるため、青壮年期の人たちが運動を始めるきっかけとしてLINEショップカードを使った健康ポイント制度を検討しては。

答

LINEショップカード機能を活用した事業に取り組んでいく

LINEショップカード機能を活用した健康マイレージ事業については、LINEなどデジタル媒体を活用し、若い世代の参加につながるような取り組みとして、県内他市で実施例がある。また、LINEを活用することでデータの管理が容易となり、どれくらいの人健康づくりに取り組んでいるか把握できるようになる。

このような状況を踏まえ、当該事業への若い世代の参加がさらに増えるように、令和8年度に向け、津市公式LINEのショップカード機能を活用した健康マイレージ事業に取り組んでいきたい。

その他の質疑・質問

- 公共施設の機能の集約化、複合化とエリア再編の進捗は
- 「津市個別施設計画」の第1期計画期間の中間見直しは
- 公共施設総量の最適化の目標は
- 津市における健康寿命の状況は
- 津市健康マイレージ事業への参加状況は

健康づくりのためには栄養バランスのとれた食事と適度な運動を取り入れることが重要となる



出典：農林水産省HP



問

津市の独居老人約2万3千人、増える孤独死の問題について問う

少子高齢化や核家族化が進み、家族同士で面倒を見るのが当たり前という時代は終わりつつある。独居老人が増えたことで、自宅で誰にもみとられることなく息を引き取る孤独死が増えており、亡くなってから1週間後に見つかったというケースもある。孤独死を未然に防ぐ津市の取り組みについて問う。

答

さまざまな事業を実施し、孤独死の未然防止に努めている

孤独死を未然に防ぐ取り組みとして、在宅で生活する独り暮らし高齢者等が急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図るため、簡単な操作により委託先のコールセンターへ通報することができる装置を貸与する緊急通報装置事業、医療情報を記入した用紙等を入れて保管することで緊急時に救急隊員等が迅速な救命活動を行えるようにするための専用の容器「絆のボタン」を配付することにより、地域の自主的な見守りネットワークの構築に取り組む津市要援護者対策地域見守りネット活動事業、安否確認を兼ねて委託事業者が手渡しで届ける配食サービス事業などを行っている。

その他の質疑・質問

- 高齢者問題について
- 孤立死、孤独死について
- 民生委員・児童委員について
- 成年後見制度について
- 終活支援事業、エンディングノートについて
- 健康寿命について
- 津市のフレイル予防事業について

孤独死を未然に防ぐ、緊急通報装置と絆のボタン





問 地域懇談会の会議結果の現状および今後の取扱い

地域懇談会で議論された内容やその結果を公開することは、市民との信頼関係を築き、会議の透明性を確保するために重要だと考える。会議結果を広く市民と共有することにより、地域間の連携を促進し、津市全体の発展に寄与することが期待できると考えるが、地域懇談会の会議結果の現状の取扱いはどのようなもので、また今後の取扱いについてはどのように考えているのか。

答 令和7年度に開催する地域懇談会から、結果等を公表していく

これまで、地域懇談会開催後に作成している会議の概要や配付資料は、当該懇談会の開催地域の住民の求めがあった場合には閲覧に供したり、交付を行い、他地域の住民の求めがあった場合は、別途手続きを行い、後日閲覧に供する等の取り扱いとしていたが、市民からも会議結果を公開してほしいといった意見が寄せられていたことを踏まえ、令和7年度開催分からは、地域懇談会終了後、会議で出た意見、要望等の項目を津市ホームページに掲載するとともに、より詳細な会議の概要等についても、地域連携課等で閲覧できるようにしていく。

その他の質疑・質問

- 議案第87号 財産の購入について
- 災害用移動式トイレ車両の購入について
- 契約事務に係る検査から支払いまでの流れについて
- 農業政策について
- 地域計画の見直しに向けた体制づくりについて
- 農業用水路の整備について

など

▶
令和7年度の地域懇談会の開催を知らせるチラシ（雲出地区開催分）



問 防犯カメラを津市地域防災力強化推進補助金の対象に

令和7年5月に美杉地域で行方不明となった高齢者の捜索に、自治会が津市防犯カメラ設置補助金の交付を受けて設置した防犯カメラの映像が大いに役立ち、無事発見に至った。このように、防犯カメラは行方不明者に関する情報収集にも活用できることから、津市地域防災力強化推進補助金の補助対象とすることを切に求めるが、津市の考えは。

答 個別の具体的な使用方法等を踏まえ、対象となるか検討する

津市では、自治会等を対象に、防犯カメラの設置に要する費用の2分の1について、15万円を上限として津市防犯カメラ設置補助金を交付しており、犯罪抑止を目的とする防犯カメラであれば基本的には当該補助金を利用して設置していただく。

また、津市地域防災力強化推進補助金は、自治会等が地域の防災活動に使用する資機材等を対象とした補助制度であり、これまでにこの補助金で防犯カメラを設置した実績はないが、防災の目的や個別具体的な使用方法などを踏まえて、当該補助金を適用できるか検討していく。

その他の質疑・質問

- 議案第90号 令和7年度津市一般会計補正予算（第2号）
- 地方創生交付金事業について
- 議案第87号 財産の購入について
- 移動式簡易トイレについて
- レークサイド君ヶ野について
- 音声告知放送について

▶
行方不明者の捜索にも役立つ防犯カメラを、津市地域防災力強化推進補助金の対象に





問

若者を対象とした投票率向上の取り組みを

近年、選挙における投票率は低下の一途をたどっており、令和6年の衆議院選挙では20歳から24歳までの年齢層で約30%と低くなっている。若者は、「自分が一票を投じて世の中が変わるものではない」「投票したい人がいない」「誰に投票していいかわからない」と考える人が多いように思う。そこで、若年層の投票率の向上に対する取り組みはどのようなものがあるか。

答

三重短期大学や高等学校等において出前授業などを行っている

若年層の投票率を向上させる取り組みとしては、津市立三重短期大学において、有権者となったばかりの学生に対して選挙についての講義を行うとともに、県外からの入学割合が高いことから、遠隔地での投票ができる不在者投票制度の周知を行っている。また、高等学校等への出前授業や投票箱・投票記載台の貸し出しなども行っている。

その他の取り組みとして、イオンモール津南で期日前投票所を開設しており、若者が多く集まる施設でもあることから、若年層の投票率の向上に寄与しているものと考えている。

その他の質疑・質問

- 市内27か所に設置されている出張所の現状、役割、維持するに当たっての課題、今後の在り方は
- 市役所の窓口受付時間の短縮について
 - どのような検討を行っているのか
 - 市民サービスの低下につながらないのか

▶
築58年の神戸出張所。津市は多くの公共施設を抱え、老朽化により維持管理費は年々かさむ



問

5歳児健診導入と発達障がいのある子どもの早期支援について

子どもが健やかに成長し、また、多様な個性を持つ全ての子どもが安心して学ぶための環境整備は市の重要な責務である。発達障がいの早期発見と支援の重要性が高まる中、3歳では見つけにくく、就学前では支援準備期間が不足する発達課題を5歳で把握し、早期支援につなげるため、国は5歳児健診を推奨している。導入に向けた津市の検討状況、関係機関との連携体制を問う。

答

国や県の動向を見極め、関係部署と検討を進める

就学まで1年以上ある時期に行う5歳児健診は、子どもがスムーズに学校生活を迎えるための支援につなげることができる事業であるが、法定の健診ではなく、小児科医師や保健師等の専門職の確保と財源、健診後の幅広いフォロー体制の構築などが課題と認識している。津市では「つう5歳児育ちサポートアンケート」等に基づき、関係機関と連携し、専門職員が保護者と面談したり、保育士等へ助言を行う現在の取り組みを進めるとともに、5歳児健診について、国の自治体への支援事業や県の委員会の進捗などを見極め、庁内の関係部署と検討を進めていく。

その他の質疑・質問

- 能登半島地震の教訓を踏まえた受援体制は
- 老朽化、未利用公共施設の財政支援への対応は
- 廃棄リチウムイオン電池の回収、処理について
- 法改正による障がい者への合理的配慮について
- 中心市街地の土地、建物のマッチング事業は
 - マッチング事業の運用方法について
 - 仕組みを生かした今後の展望について

▶
廃棄するリチウムイオン電池は端子部分をビニールテープ等で覆い、「危険ゴミ」の日に出す





問 新たな二次救急輪番体制における救急搬送状況と課題は

社会問題化している救急車の利用方法はいかなものか、また、医療機関の状況について勤務医や看護師など、業務の過酷さによる影響はどうか。伸び続ける救急需要に対しての現場到着時間の推移や搬送先病院の選定における医療機関の状況等、課題はある。①新たな二次救急輪番体制における救急搬送状況は②救急救命士の役割拡大は③医師の働き方改革の影響についてたします。

答 救急搬送状況は大きく改善したが、課題はある

令和6年4月から三重大学医学部附属病院が二次救急輪番体制をバックアップしており、救急搬送状況は大きく改善したが、救急搬送が一時的に集中して各医療機関の救急患者の受け入れが逼迫すると、救急搬送困難事案の割合が高くなるという課題がある。また、法改正により救急救命士の活動範囲が拡大されるなど、救急救命士の必要性が高まっており、今後も計画的に救急救命士を養成し、救命率の向上を図りたい。医師の働き方改革により、これまで以上に輪番時の当直医師を自院の医師で賄うことが困難な状況が生じていることから、一定程度の影響があったと捉えている。

その他の質疑・質問

- 学校の防犯対策で、①防犯カメラ設置の安全管理体制は②警察や病院等との危機管理体制は
- 基幹統計調査は、より効果的な政策立案をするための資料となり、積極的な利活用が重要である
- ごみ焼却施設の長寿命化における評価と分析は
- 市民参加型「つ・環境フェスタ」のねらいは
- 職員の勤務時間、育児休業等改正の目的は

▶
救急救命士や医療関係者の献身的な仕事により、市民の安心・安全が守られている



問 津市における今後のM I C Eの取り組みについて問う

津市はコンベンション(国際会議)施設や宿泊施設が充実しており、非常に大きなアドバンテージがあることから、M I C Eを誘致・支援することで、大きな地域経済効果をもたらすと思われる。

そこで、県と連携し、ホームページをアップデートするなど、M I C Eの付加価値として津市の魅力を情報発信していくべきだと考えるが、津市における今後のM I C Eの取り組みは。

答 情報発信の強化はもとより、県や津市観光協会と連携していく

津市で開催された国際会議は過去3年間で11件あり、令和6年度に2件、令和5年度に7件、令和4年度に2件開催された。市としては、コンベンション等が市内で行われた場合に会場周辺のグルメガイドマップを作成・提供したり、津市観光協会と連携して会場内に観光ブースを設置し、観光パンフレットやノベルティを配布するなどのP Rを行った実績がある。今後は、情報発信の強化はもとより、県や津市観光協会と十分に連携を取りながら、さらに充実した体制でM I C Eの誘致を進めていきたい。

その他の質疑・質問

- 久居こどもの遊び場づくり事業について
- 部活動の地域展開について
- 令和8年度夏以降の取り組みについて
- 令和11年度夏以降の方向性について
- 津市の公共施設の空調管理基準について
- 本庁舎の冷房使用基準は
- 他の公共施設・学校施設の冷房使用基準は

▶
交流人口の増加、地元への経済効果が高いと思われるM I C Eとは





問 松阪市に追い付け追い越せ！ 津市の偉人のPRを！

津市にはたくさんの偉人がいるが、PRが不足しているのではないかと。例えば、津市には谷川士清という偉人がいるが、PRの面において松阪市の本居宣長に負けているように感じる。津市ゆかりの偉人たちをどんどんPRしていくべきと考えるが、津市の方針は。

答 今後もあらゆる機会を通じてPRに努める

津市の偉人のPRについて、津市では毎年、谷川士清の顕彰団体である「谷川士清の会」の協力の下、小学生とその保護者を対象に親子洞津谷川塾を開催している。同事業では、谷川士清について紙芝居で紹介するほか、旧宅と谷川神社などゆかりの旧跡をガイドしながら巡るなどしている。令和7年度も7月19日の開催に向けて、津市公式LINEなどで参加者を募集している。

また、市内各地の歴史を紹介する広報津の「歴史散歩」の記事を取りまとめた「歴史散歩総集編・増補版」を令和7年7月下旬に発刊予定であり、この中でも津市ゆかりの偉人たちを紹介する。

その他の質疑・質問

- 前葉市政における職員の不祥事案の検証について
 - 再発防止策について
- 新しいやり方の地域懇談会について
- 若者が20年後、30年後にこの町に残るための若者会議について

ビッグデータを惜しみなく世に出したこの人は広く知られているか



問 雲出伊倉津町地内の避難道路について問う

雲出伊倉津町地内の避難道路について、令和3年度に自治会から道路拡幅の要望が出されていたが、それ以来、市は放置しているのではないかと。早急に拡幅すべきと考えるが、進捗状況は。

答 避難路について、自治会に寄り添いながら協議していきたい

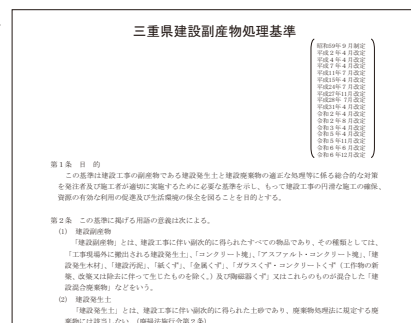
当該避難道路については、令和4年1月26日に自治会から要望書が提出されてから、何度か協議を重ねてきた。

直近では、令和7年3月、4月に自治会長から地区防災計画の策定について相談を受けており、当該計画において定める避難路によって避難道路の整備内容が変わってくることから、どのような避難路にするか、自治会に寄り添いながら協議していきたい。

その他の質疑・質問

- ズリ（物品）の管理および処分は適正か
- 市営浄化槽の違法設置について（平成29年度）
- 学童保育の施設整備等について
- 白山地内のゴルフ場を太陽光発電施設に整備する件について
 - 集中豪雨時の対策は
 - 森林の伐採による調整池の整備は

ズリ（物品）の処分は適正に行われたか





問 ミソジニー（女性蔑視）を克服するために、市長の考えは

「トイレットペーパーみたいに、生理用ナプキンをどこでも置いてほしい」この発信に殺害予告までするのは、女性の人権に関わる問題であり、ミソジニーに基づくものだ。歴史的な社会慣習に対して声をあげて行動する女性を嫌悪し、男尊女卑の規範を壊そうとする者を攻撃して黙らせようとするもので、男女共同参画社会とは相いれない。社会的に克服するために、市長の考えを問う。

答 性別に捉われないような意識への変化を促すための啓発が必要

ミソジニーとは女性に対する嫌悪や蔑視を意味する言葉であると理解しており、人権が尊重される社会、男女共同参画を目指す中において、当然許されるものではない。

この問題の根本には、男性・女性のいわゆる固定的な性別役割分担や男性が家を継ぐという家父長制といった意識の流れからくるものがあると理解しており、当然克服すべきものである。そのためには性別に捉われないような意識への変化を促す啓発が必要であると考えます。

その他の質疑・質問

- 防災備蓄品としての生理用品は、どこにどれだけ置かれ、どのように避難者の手元に届くのか
- 一身田地区のスーパーが閉店したが、買物困難者の実態を津市は把握し、打開策を考えているか
- デマンド交通導入の議論があるが、買物にも利用される必要なコミュニティバス路線は残すべき
- 大阪・関西万博への修学旅行等の見直しを など

移動販売事業は継続できてこそであり、自ら商品を見て品定めし、考える場としても重要



問 高野団地・小山台地の下水道管耐震化について問う

災害対策はリスクの分散化が重要であり、旧市町村の一部に偏らない下水道設備の更新が必要であると考えます。一志地域の高野団地および小山台地の下水道管は、整備されてから寿命とされる50年前後が経過しているが、設備の状況および耐震性に問題はないか。また、震災による緊急輸送道路のマンホールの浮上対策および災害拠点病院の下水道管の耐震性の状況は。

答 現在耐震化の計画はなく、適切な維持管理を行っていく

高野団地および小山台地の下水道管は、現在の耐震対策指針の基準を満たしていないが、旧一志町への移管時に異常箇所を修繕しており、現在まで大きな異常はなく比較的健全な状態にあることから、今後も適切な維持管理を行っていく。緊急輸送道路下に埋設された下水道管については、液状化の検討を行い、マンホール浮上防止対策が必要であると判断した場合は実施していく。また、災害拠点病院である三重中央医療センター周辺の下水道管は、標準耐用年数の50年を経過しておらず比較的健全な状態にあるが、地震等で不具合が生じた場合には最優先に修繕し早期復旧を行う。

その他の質疑・質問

- 波瀬川の防災対策について
- 波瀬川氾濫時の避難誘導について
- 災害時のデマ、フェイク画像対策について
- 災害時の燃料調達、衛生状態確保のための水および合併浄化槽によるトイレの確保について
- 産業政策としての奨学金について
- 教育施設の空調設備について

災害時に備えて配水池や耐震性貯水槽で約6,600万リットルの水を確保している





問

学校現場における平和教育について問う

令和7年は第二次世界大戦の終戦から80周年となる。80年が経過することで、戦争体験者も少なくなり、悲惨な体験談を聞くなどの平和教育の実施が難しくなると考えられる。また、昨今では児童生徒がSNS等で間違った知識を得てしまうリスクも高まっているが、学校現場において平和教育にどのように取り組んでいるのか。また、伝える側となる教職員に対する取り組みは。

答

国語科、社会科、道徳等で戦争と平和について学んでいる

小学校では、戦争文学を通して戦争に触れ、登場人物の気持ちや戦争の悲惨さ、物語に込められた平和への思いなどを考え学ぶ学習を行っており、中学校では、小学校で学んだことを踏まえ、歴史的事実の理解のみにとどまらないよう、戦争と平和について考えたことを自分事として捉え、調べたことから自分たちにできることを話し合う機会を設けている。

また、教師や周りの大人が歴史的事実や戦争に係る施設がどこにどのような形で残っているかを知ること重要であると考えており、本年度は新規採用者等を対象に研修会の開催を予定している。

その他の質疑・質問

- 久居こどもの遊び場づくり事業について
- 津市立三重短期大学の今後について
- 市内のグレーチングの盗難対策について
- 自主防災会への貸与物の管理について
- 津市制20周年記念事業について

▶ 香良洲町の歴史資料館。展示物が充実しており、小学生の校外学習等で利用してはどうか



問

津市内の水道管の老朽化対策について問う

令和7年1月に一身田町地内で水道管等破損事故が発生した。全国の多くの場所で水道管の破損による大規模な漏水が起きており、背景には古い水道管の更新や耐震化がなかなか進まないことが考えられるが、津市における水道管の老朽化対策の進捗状況および今後の進め方は。また、水道工務課が2課に分かれた後、両課の間での情報共有は適切に行われているか。

答

A I 等の技術を取り入れながら計画的に進めていく

第2次津市水道事業基本計画に基づき事業効果が高い箇所から老朽化対策を進めており、令和5年度末時点における同計画の進捗率は、基幹管路が67.7%、その他管路が79.5%となっている。

現在、令和10年度からの第3次津市水道事業基本計画の策定に向け、今後10年間で実施すべき優先順位や規模等について検討を始めており、今後はA I 等のさまざまな技術を取り入れながら計画的に老朽化対策を進めていく。また、組織の見直しにより2課体制となった水道整備課と水道維持課の業務は相関連していることから、日々情報共有を図りながら業務に当たっている。

その他の質疑・質問

- 熱中症対策について
- クーリングシェルターの現状は
- 市民向け熱中症対策は
- 安全、安心な周産期医療体制について
- 津市における過去10年間の出生数と増減率は
- 病院での出産と助産所等での出産の割合は
- 周産期医療の充実に向けたロードマップは

▶ 指定暑熱避難施設であることを示す「クーリングシェルター・マーク」





問 食物アレルギーのある児童生徒等への給食対応について問う

食物アレルギーの原因食物である卵や牛乳、小麦などを摂取すると、かゆみやじんましんなどの皮膚症状や、アナフィラキシーショックによる呼吸困難・血圧低下などを引き起こすことがあり、迅速な対応が必要となる場合がある。周りの子どもたちへの正しい知識の周知と、教職員の研修は重要だと考えるが、食物アレルギーのある子どもたちへの給食対応と緊急時の対応策は。

答 原因食物は完全除去し、緊急時に対応できる体制を整えている

給食対応に必要な児童生徒等には個別の取り組みプランを立て、毎月、対応食確認書兼依頼書と材料名が記載された献立表を保護者に確認いただいております。また、学校・園では、「津市学校給食における食物アレルギーマニュアル」等を活用して、緊急時に具体的かつ確実に対応できる体制を整えており、教職員を対象とした研修では、AEDを含む心肺蘇生法の実習をしたり、アドレナリン自己注射薬エピペンの打ち方を演習したりするなど、教職員が緊急時に適切に対応できるよう努めている。

その他の質疑・質問

- 小さく生まれた赤ちゃんの家族への支援
- 搾乳室一覧の作成と公式LINEでの啓発を
- 高齢者・重度障がい者の紙おむつ等給付事業
- 高齢者へのおむつ等引換券やカタログ等導入を
- おむつ代・助成金の拡充について
- 津市制20周年記念事業について
- NHKのど自慢の開催を

など

「世界早産児デー」(11月17日)の意識啓発のため、津城などでのライトアップ実施を求めた



出典：日本NICU家族会機構HP



問 市街化調整区域の休耕田に課される固定資産税について問う

高齢化や後継者不足により休耕田が増える中、市街化調整区域においては、通常は宅地転用もできないため、高齢などの理由で耕作ができなくなったときに、そのまま放置して農地が荒れてしまうと、固定資産税が上がるのでは、との不安の声がある。実際に耕作をやめただけで課税上の地目が変更されるなどして、大幅に税金が上がるようなことがあるのか、津市の認識を問う。

答 容易に農地に復元し得ない状態となるまでは農地の評価を維持

休耕後の農地への固定資産税の課税については、耕作をやめた農地を埋め立てるなどして駐車場にする、建物を建てるなどその土地が明らかに農地以外に転用された場合や長期にわたって耕作や適切な管理が行われなかったことにより雑草や低木が繁茂し、容易に農地に復元し得ないような状態になるまでは、農地としての評価を維持することとしている。

このため、耕作をやめたことだけを理由に、休耕後すぐに課税上の地目を変更するといったことはなく、そのことにより税金が急に大幅に上がるようなこともない。

その他の質疑・質問

- 災害用移動式トイレ車両導入とマンホールトイレ、簡易トイレなど災害時の多様なトイレ対策は
- Jアラートの新型受信機整備事業について
- 地域を支える民生委員・児童委員の支援強化を
- 大阪・関西万博への校外学習時の安全対策は
- 人工知能(AI)で進める、水道管の老朽化対策と無駄のない更新計画について

など

マンホールトイレの整備や訓練の実施を



出典：国土交通省HP



問

久居こどもの遊び場づくり事業の進め方について問う

令和7年度から10年度までの交付金として国に申請している「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の対象事業費を約8億8千万円としており、これは具体的なプランがあるということを意味している。現在、当該事業について市民から意見を募集しており、このプラン外の良い意見を採用しようとする交付金の枠を超える可能性があるが、そのような場合にはどのような対応をするのか。

答

毎年度の交付金申請時に市民の意見を反映させていく

久居こどもの遊び場づくり事業については、4年間で総額約8億8千万円の事業として交付金を申請し、国の承認を得ているものであるが、当初の申請内容を全く変えられないというものではないと認識しており、毎年度の交付金申請時に市民からの意見を反映させた事業計画を提出していくことを想定している。

また、交付金の額についても、物価高騰や人件費の高騰といった環境の変化も想定されるため、国が毎年度審査をする中で、説明がつく範囲においては増額も認めてもらえるものと認識している。

その他の質疑・質問

- 林業振興について
 - 津市の木材利用の取り組みについて
 - 森林環境譲与税およびみえ森と緑の県民税の利用状況について
- ハザードマップの作成について
 - 作成に要する期間について
 - 今後について

プールを廃止し、交流イベントエリアやキッチンカーエリア等を有した公園を建設する予定



問

組織風土改革について問う

人口減少社会の進展により、人手不足の深刻化は自治体も例外ではなく、今後の人材確保が課題である。若い世代が就職先を選ぶ際に重視する点の一つに風通しの良い組織であるかどうか挙げられるが、職員が組織の中で言いたいことを言える心理的安全性の確保に向けた取り組みは。また、人事ローテーションの在り方についてはどのように考えているか。

答

今後も職員と所属長とのコミュニケーションを図っていく

心理的安全性の確保が職場にもたらす効果としては、職場の風通しが良くなり、職場の人間関係が改善されるとともに、個人や組織の生産性が向上することなどが挙げられる。津市においては、全職員に対して毎年実施している人材評価における面談を、所属長と職員が相互にコミュニケーションを図る場として活用しており、引き続きこのような取り組みを続けていく。また、定期的な人事ローテーションにより職員に必要な知識や技術を着実に身に付けさせるとともに、職員同士のつながりをさらに深めるなど、市役所が組織として成長し、活性化するよう取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 高虎サミット開催に向けた取り組みについて
 - 令和8年度の開催に向けての取り組みは
 - 関係団体との連携は
- 戦略的な観光振興の取り組みについて
 - 津市の観光の現状は
 - 今後の観光誘客に向けて
 - 関係機関との連携は

職員研修を通じて、風通しの良い職場づくりを





問 コミュニティバスの再編について問う

令和8年4月からデマンド型バスを導入する方向で取り組むとのことであったが、実証実験でのアンケートや、各地域の地域公共交通あり方検討会等からの意見、要望を踏まえた課題はどのようなであったか。

また、コミュニティバスの再編に向けて、現在の進捗状況や市民への案内など、今後のスケジュールはどのように考えているのか。

答 地域ごとの再編案づくりを進めている

実証実験の結果、地域によって少しずつニーズが異なり、一律のデマンド型バスによる運行方式ではそれぞれのニーズに十分対応できないことが分かったため、現在、地域ごとの再編案づくりを進めている。

令和7年7月から、改めて各地域の地域公共交通あり方検討会等で再編案についてご意見をいただき、方向性が固まり次第、議会での議論を経て、最終的には次期津市地域公共交通計画として取りまとめ、令和8年度から新しいスタイルでの運行開始を目指していく。

その他の質疑・質問

- 津市独自の産後ケア事業の取り組みについて
- 保育、教育施設の不審者等の侵入防止と、防犯訓練について
- 中勢バイパスについて
 - 全線開通による津市への効果は
 - 4車線化事業と、接続する市道整備の進捗状況は
 - 各種証明書等の交付について

古来からの護身の道具である「さすまた」は、不審者対策に有効である



問 「こぶ湯」の名を使って地域活性化を!!

ふるさと納税制度は、津市の地域や観光名所、著名人の名をアピールするチャンスである。

津市には、観光名所であるこぶの取れる霊泉として親しまれている「こぶ湯」の名を使った和菓子や津市にゆかりの著名人である藤堂高虎さんの名を使った農産物や和菓子もあるが、現在、津市のふるさと納税の返礼品に入っていない。

こういった商品を返礼品に追加する考えは。

答 津市のアピールにつなげるため、返礼品を増やしていく

返礼品の追加には、返礼品提供事業者始動の場合と市始動の場合がある。津市では、ふるさと納税管理運営業務委託業者に対し、専門的なノウハウを生かして、寄附者が希望する返礼品の動向、金額、数量、時期などを分析し、寄附者のニーズに合った返礼品を企画提案することを委託しており、津市が事業者アプローチをする場合もある。返礼品提供事業者の協力により、津市のふるさと納税が盛り上がり、津市のアピールにつながると考えており、今後も多くの事業者の協力によって、さまざまな種類の返礼品を増やしていきたい。

その他の質疑・質問

- 花街道景観整備事業について
 - 事業の概要は
 - 今後の対応は
- 令和7年度津市一般会計補正予算（第2号）
- 消防団運営事業について

榊原温泉への花街道景観整備事業の存続を





問

津市制20周年を迎えるに当たっての振り返りは

市町村合併により誕生した当初と現時点の津市を比較した市長の捉え方を問う。

答

合併して良かったと思えるようなまちづくりを進めてきた

合併後の20年間を振り返ると、財政面では合併当初に約983億円あった市債は、令和7年度末で約467億円と、半分程度になる見込みである。こうした財政の健全化に取り組みながらも、一般廃棄物新最終処分場や久居アルスプラザの整備などの合併前の旧市町村から引き継いだ事業に加え、合併当初にはなかった津興橋の架け替えや大谷踏切の拡幅などの新しい事業に取り組んできた。これまでは合併して良かったと思ってもらえるようなまちづくりを進めてきたが、これからは津市がどのような未来に向かって発展していくのかを考えながら政策展開をしていきたいと考えている。

その他の質疑・質問

- 津城跡（お城公園）整備事業について
- アピアランスケア（がんの治療に伴う外見の変化へのケア）に対するサポートについて
- ウィッグや補正下着等購入への経済的支援を
- 吹奏楽部の楽器の老朽化への取り組みについて
- 気持ちよくスポーツを行える環境づくりについて

▶
ペットボトルの削減にもつながる熱中症予防のための給水機



? 議会用語解説 ?

ぎ あんしつ ぎ
「議案質疑」

議案（※）について、賛否の態度決定ができるよう、議案の提出者に対して疑問点を問いただすことをいいます。

※議会の議決を求めるために、市長や議員が議会に提出する案件のこと。

いっ ぱんしつ もん
「一般質問」

定例会において、議案と関係なく市政全般に関して、執行機関に対し、事務の執行状況や方針について報告や説明を求めたりすることをいいます。

せい がん
「請願」

国または地方公共団体等の公共団体に対し、それらが所管する事項に関し、一定の措置をとるよう申し出ることをいいます。議会に請願する場合は、地方自治法第124条の規定に基づき、1名以上の議員の紹介が必要となります。請願は委員会で審査し、本会議で採択または不採択の決定を行います。採択された請願は、関係行政庁などに請願の趣旨の実現を要請し、不採択となった請願は、その旨を請願者に通知します。



請願書の書き方（例）はこちら→

（津市議会HP）

い けん しょ
「意見書」

地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関する事件に関し、地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のことをいいます。

議決結果一覧表

今期定例会では、承認3件、報告11件、条例の制定1件・一部改正7件、令和7年度補正予算2件、請願1件、人事案件1件、意見書1件、その他13件の40議案が審議されました。

その結果、報告11件を除く29件のうち、28件は承認・可決・同意され、請願1件は不採択とされました。

可決された議案

【全会一致（出席全議員が賛成）で承認・可決・同意された議案】

議案番号	議 案 名 概 要
承認第2号	専決処分の承認について 津市市税条例の一部の改正について 軽自動車税に係る種別割の税率区分の追加、長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに対する固定資産税等の減額の規定の適用を受けようとする者がすべき申告に係る規定の追加など、地方税法の改正に伴う所要の改正
承認第3号	専決処分の承認について 令和7年度津市一般会計補正予算（第1号） 土地区画整理事業の増による 160万円 の増額補正
承認第4号	専決処分の承認について 令和7年度津市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号） 繰上充用金の増による 240万2,000円 の増額補正
議案第70号	津市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について 児童福祉法の改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備および運営について、市の基準を定めるため必要な事項を定める条例の制定
議案第71号	津市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び津市職員の育児休業等に関する条例の一部の改正について 地方公務員の育児休業等に関する法律が改正され、部分休業制度が拡充されたことなどに伴う所要の改正
議案第72号	津市市税条例の一部の改正について 所得控除に係る規定の改正、加熱式たばこに係るたばこ税の課税標準の特例の追加など、地方税法の改正に伴う所要の改正
議案第73号	津市手数料徴収条例の一部の改正について 宅地造成及び特定盛土等規制法の改正により、同法と三重県宅地開発事業の基準に関する条例による二重規制を避けるため同条例が廃止されたこと、また、三重県において県内全域で同法による規制および許可に係る事務が開始されたことから、三重県が津市に権限移譲していた同条例に基づく事務に係る手数料の規定を削除するための改正
議案第74号	津市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部の改正について 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正され、事業者等による保育内容支援の実施および代替保育の提供に係る連携施設の確保内容が見直されたことならびに連携施設の確保に関する経過措置が延長されたことに伴う所要の改正
議案第75号	津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部の改正について 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める内閣府令が改正され、事業者等による保育内容支援の実施および代替保育の提供に係る連携施設の確保内容が見直されたこと、連携施設の確保に関する経過措置が延長されたことなどに伴う所要の改正
議案第76号	津市運動施設の設置及び管理に関する条例の一部の改正について 津市芸濃総合文化センター内アリーナおよび津市一志体育館に新たに冷暖房設備を設置することに伴う所要の改正
議案第77号	津市立三重短期大学授業料等徴収条例の一部の改正について 大学等における修学の支援に関する法律が改正され、授業料等減免の対象者に多子世帯の学生が追加されたことに伴う所要の改正
議案第78号	工事請負契約について 津興橋大規模更新事業に伴う仮橋撤去及び道路改良工事 3億4,980万円
議案第79号	工事請負契約について 津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事 2億4,655万4,000円
議案第80号	工事請負契約について 津市立豊が丘小学校長寿命化改修工事 2億700万9,000円
議案第81号	工事請負契約について 津市立東観中学校長寿命化改修工事 1億9,954万円
議案第82号	工事請負契約について 津市立栗真小学校長寿命化改修工事 1億8,827万6,000円
議案第83号	工事請負契約について 津市立西郊中学校昇降機棟増築その他工事 1億3,880万9,000円

議案番号	議 案 名
	概 要
議案第84号	工事請負契約について 津市芸濃総合文化センター内アリーナ等空調設備設置に伴う電気設備改修工事 2億4,944万7,000円
議案第85号	工事請負契約について 津市芸濃総合文化センター内アリーナ等空調設備設置工事 1億6,932万3,000円
議案第86号	工事請負契約の一部の変更について 半田久居線及び雲出野田線空洞充填工事に係る工事請負契約の一部変更 変更前 4億18万円 変更後 4億2,384万7,600円
議案第87号	財産の購入について 災害用移動式トイレ車両1台の購入 3,069万3,710円
議案第88号	財産の購入について 小中学校等における学習者用端末19,581台の購入 11億7,388万950円
議案第89号	市道路線の認定について 藤方第49号線ほか1路線の認定
議案第90号	令和7年度津市一般会計補正予算（第2号） 公園整備事業、障害者総合支援法関係事業等の増、学校施設維持補修事業の減による10億7,203万9,000円の減額補正等
議案第91号	訴訟の提起について 津市国民健康保険の被保険者であった被害者に対する傷害事件に関し、津市は被害者の治療等に対し保険給付を行っており、その給付の価額の限度において被害者が加害者に対して有する損害賠償請求権を代位取得していることから、加害者に対し損害賠償金757万3,460円などの支払いを求める訴訟の提起
議案第92号	津市固定資産評価員の選任につき同意を得るについて あおき よしみつ 青木 芳光
議案第93号	令和7年度津市一般会計補正予算（第3号） 健康教育推進事業および耐震化促進事業の増による6,543万5,000円の増額補正
意見書第1号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書について

報 告

議案番号	議 案 名
	概 要
報告第10号	専決処分の報告について 津興橋大規模更新事業橋梁（上部工）架設等工事に係る工事請負契約の一部変更 変更前 5億6,100万円 変更後 5億6,110万8,900円
報告第11号	専決処分の報告について 津市中消防署西分署建築工事に係る工事請負契約の一部変更 変更前 3億158万7,000円 変更後 3億555万5,800円
報告第12号	令和6年度津市継続費繰越計算書について 一般会計の継続費6事業4億6,978万9,000円の通次繰越
報告第13号	令和6年度津市繰越明許費繰越計算書について 一般会計32事業35億4,302万7,981円の翌年度への繰越
報告第14号	令和6年度津市水道事業会計予算繰越計算書について 水道事業会計4事業3億4,592万7,900円の翌年度への繰越
報告第15号	令和6年度津市下水道事業会計予算繰越計算書について 下水道事業会計5事業10億1,880万5,800円の翌年度への繰越
報告第16号	令和6年度津市モーターボート競走事業会計継続費繰越計算書について 津市モーターボート競走事業会計の継続費1事業1,522万8,000円の通次繰越
報告第17号	津市土地開発公社の経営状況について 令和6年度決算及び令和7年度事業計画
報告第18号	公益財団法人津市社会教育振興会の経営状況について 令和6年度決算及び令和7年度事業計画
報告第19号	株式会社伊勢湾ヘリポートの経営状況について 令和6年度決算及び令和7年度事業計画
報告第20号	青山高原保健休養地管理株式会社の経営状況について 令和6年度決算及び令和7年度事業計画

不採択とされた請願

請願番号	請 願 名 概 要	賛成議員
請 願 第 2 号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める請願書 日本の難聴者率は欧米諸国と比べて大差ないが、補聴器の使用率はかなり低い状況であり、その背景には補聴器の価格が高額であることや、公的支援が不十分などがある。補聴器を必要とする加齢性難聴者に対する津市独自の助成制度を創設し、特定健康診査に聴力検査を導入することおよび加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設することを関係機関へ働きかけるよう請願する。 《賛成討論 日本共産党津市議団 滝 勝弘議員》国際アルツハイマー病会議では、高齢者の難聴は日常生活の障害になるだけでなく、認知症発症の危険因子の一つとされており、補聴器の使用により認知症の進行が抑えられることが示されているが、補聴器は高額なため多くの高齢者が購入を躊躇うている。現在、多くの自治体で補聴器購入に対する公的補助制度が創設されており、津市においても創設すべきと考えることから賛成する。 《反対討論 未来開拓 長谷川 植議員》加齢性難聴者にとって、補聴器が生活の質を高めるものであることは理解しているが、日本は急速な高齢化が進んでおり、新たな補助制度を創設することは、医療や介護、子育て支援など、他の喫緊の課題への財源配分を圧迫する可能性がある。難聴の進行を遅らせるための啓発活動や早期発見のための検診の充実など、予防に重点を置く方が長期的に見て社会全体の負担を軽減できる可能性があると考えるところから反対する。 《賛成討論 希望の風 田矢 修介議員》加齢性難聴は根本的な治療が困難と言われており、日常生活での聞こえづらさを補うためには補聴器の使用が有効な手段とされているが、補聴器は高額なため多くの高齢者が購入を躊躇うている。全国市長会における国に対する提言の中でも、補聴器購入に対する公的補助制度の創設について積極的な措置を講じることを求めており、津市においても創設すべきと考えることから賛成する。	滝勝弘、中野裕子、桂三発、田矢修介

みてみよう 聴いてみよう

本会議や委員会は傍聴することができます。
本会議の傍聴を希望される方は傍聴受付で、また、委員会の傍聴を希望される方は議会事務局窓口で、住所、氏名をご記入の上、傍聴席へ入場していただきます。

- 開会時刻は、午前10時の予定です。
- 本会議は市議会議場、委員会は第1委員会室の予定です。(いずれも市本庁舎議会棟3階)
- 傍聴席の定員は、議場56人、委員会室5人で、先着順に受け付けています。
- 議場傍聴席には車いす用リフトがあり、車いすのまま傍聴することができます。

- 本会議では聴覚障がいまたは音声・言語機能障がいの身体障害者手帳を所持されている方の希望に応じて、手話通訳や要約筆記を行っています。希望される日の7日前までに議会事務局へ申請してください。詳しくは、津市議会ホームページをご覧ください。詳しくは、津市議会ホームページをご覧ください。Eメール(229-3222@city.tsu.lg.jp)またはファクス(229-3337)などで事務局へお問い合わせください。
- 議場では、補聴用受信機を貸し出していますので、必要な方は、傍聴受付にてお申し出ください。



車いす用リフト



要約筆記の様子



補聴用受信機

各常任委員会が先進自治体を視察

総務財政・教育厚生・経済環境・建設水道の4つの常任委員会が、それぞれ県外の先進地に赴き視察を行いました。各委員が、調査項目に係る課題について理解を深め、今後の調査研究に生かすため、他の自治体の先進的な事例を学びました。

総務財政委員会 5月12日～14日

静岡県焼津市

- ふるさと納税について
(特産物のプロモーションによるふるさと納税の
寄付額増加の取り組み)

埼玉県川口市

- 日勤救急隊について
(救急需要の増加に対応するための日勤救急隊の
創設、運用の取り組み)

東京都三鷹市

- 市民参加でまちづくり協議会について
(市民によるまちづくり協議会の意見を市の政策
に反映させる取り組み)



三鷹市での視察

視察者

小島 晴美・吉川 一正・中野 裕子・桂 三発・福田 慶一・吉田 博康

教育厚生委員会 5月12日～14日

神奈川県秦野市

- 部活動の地域移行について
(休日部活動の地域移行の取り組み)

埼玉県上尾市

- 子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」
について
(子ども・子育て支援複合施設における医療的ケ
ア児の受け入れの取り組み)

東京都練馬区

- 街かどケアカフェについて
(地域の集いの場を拠点とした介護予防の取り組
み)



秦野市での視察

視察者

中田 耕平・石川 禎紀・坂井田 茂・堀口 順也・八太 正年・青木 秀晃・佐藤 有毅

経済環境委員会 5月19日～21日

長崎県長崎市

- 地域エネルギー事業体について
(再生可能エネルギーの地産地消による地域活性化の取り組み)

福岡県柳川市

- 「柳川観光2025指針」の策定について
(市民・観光客・事業者全てがメリットを実感できる観光まちづくりの取り組み)

佐賀県鳥栖市

- サザン鳥栖クロスパークについて
(官民連携での産業用地開発の取り組み)



長崎市での視察

視察者

岩脇 圭一・保田 勝平・渡辺 晃一・長谷川 植・安積むつみ・伊藤 哲也・山路小百合

建設水道委員会 5月21日～23日

静岡県富士市

- A I オンデマンドバスの取り組みについて
(公共交通と「ふじMa a S」の取り組み)

群馬県高崎市

- 高崎駅周辺における渋滞対策、高崎駅東口再開発について
(東西駅前広場の再開発による渋滞対策と高崎市都市集客施設基本計画に基づく駅東口再開発の取り組み)

長野県長野市

- 長野市の水道事業におけるA I や機械学習を使った管路更新最適化サービスについて
(ビッグデータを用いたA I の活用による水道管の劣化予測サービスの取り組み)



高崎市での視察

視察者

滝 勝弘・佐藤 知子・田中 勝博・青山 昇武・田矢 修介・柏木はるみ



議会運営委員会が先進自治体を視察

令和7年7月22日から24日にかけて、議会運営委員会が県外の先進自治体への視察を行いました。それぞれの委員が、調査項目に係る課題について理解を深め、今後の議会改革および議会運営に生かすため、他の自治体の先進的な事例を学びました。

東京都墨田区

- 区民等との意見交換会の開催、議事堂以外での委員会開会、委員会による政策立案・政策提言、特別委員会の運営などの取り組みについて

埼玉県戸田市

- 委員会における年間活動テーマの設定および市議会モニター制度の取り組みについて

栃木県那須塩原市

- 中学校等で開催する出前講座、議会取組実行計画の策定および事務事業評価の取り組みについて



戸田市での視察

視察者

佐藤 有毅・保田 勝平・滝 勝弘・中野 裕子・渡辺 晃一・桂 三発・長谷川 植・坂井田 茂・青山 昇武・八太 正年・福田 慶一・田矢 修介・吉川 一正



議会日誌

令和7年5月1日～令和7年7月31日

令和7年

5月 7日	議会だより編集委員会	6月16日	本会議（質問日）
12日～14日	総務財政委員会管外視察 （焼津市、川口市、三鷹市）	17日	本会議（質問日）
	教育厚生委員会管外視察 （秦野市、上尾市、練馬区）	18日	本会議（質問日）
15日	全員協議会	19日	本会議（質問日）
19日～21日	経済環境委員会管外視察 （長崎市、柳川市、鳥栖市）	23日	建設水道委員会
21日～23日	建設水道委員会管外視察 （富士市、高崎市、長野市）	24日	教育厚生委員会
6月 2日	議案説明会、ハラスメント防止研修、 議会運営委員会	25日	経済環境委員会
9日	議会運営委員会、 本会議（開会日）	26日	総務財政委員会
11日	議会運営委員会、会派代表者会議	7月 1日	議会運営委員会
		2日	本会議（閉会日） 、 議会だより編集委員会
		22日～24日	議会運営委員会管外視察 （墨田区、戸田市、那須塩原市）
		31日	議会だより編集委員会

意見書を国の関係機関に提出

今期定例会において、全会一致で可決された次の意見書を国の関係機関（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣）へ提出しました。

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

地方分権及び地方創生の進展とともに、加速する人口減少社会への対応が、我が国の将来にとって喫緊の政治課題となっている。地方公共団体の重要な意思決定を行う地方議会は、多様化する民意の集約と地方行政への反映が期待されており、その果たすべき役割と責任は重要性を増している。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民とのコミュニケーションを深めるとともに、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。このような活動範囲の広がりに伴い、近年においては議員の専門化が進んでいる。

一方で、議員のなり手不足については、全国町村議会議長会の調査によると、今後の選挙において3分の1を超える町村議会が無投票となる可能性を指摘する報告もあり、小規模の市議会などにおいても無投票が増えることが危惧され、民主主義の根幹を揺るがす問題となっている。

そのような中、就業者の9割を会社員等の被用者が占める今日において、地方議会議員のなり手も会社員等からの転身者が期待されている。

地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、議員活動を続けることができる環境が整うことになる。多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。

本市議会では、現在のところ議員のなり手不足が懸念される状況にはないが、この問題は真に困っている議会を助け、我が国の地方自治を守るという視点からも地方議会が一丸となって取り組むべきものである。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年7月2日

津 市 議 会

本会議・委員会の模様を映像配信しています！

令和7年第3回定例会の本会議・委員会の模様は、津市議会ホームページで映像配信しています。

また、ケーブルテレビ（ZTV）の津市行政情報番組（デジタル123チャンネル）でも本会議の模様を録画放送する予定です。

放送日程等は、決まり次第ケーブルテレビ等でお知らせします。



津市議会の
ホームページに
アクセスできます。

津市議会ホームページから、「映像配信」にアクセスすると、ライブ映像、録画放送が視聴できます。



令和7年第3回定例会日程

日	月	火	水	木	金	土
8/24	25 本会議 開会日	26	27 議会運営 委員会	28	29	30
31	9/1 本会議 質問日	2 本会議 質問日	3 本会議 質問日	4 本会議 質問日	5	6
7	8 建設水道 委員会	9 教育厚生 委員会	10 経済環境 委員会	11 総務財政 委員会	12 決算特別 委員会	13
14	15	16 決算特別 委員会	17 決算特別 委員会 (予備日)	18	19	20
21	22	23	24 議会運営 委員会	25 本会議 閉会日	26	27

日程は変更になる場合があります。

その場合は津市議会ホームページでお知らせします。

編集後記

議会だよりは、この3年でカラー化やレイアウトの変更が行われ、本年度は『広報つ！』の発行に合わせて議会だよりの発行のタイミングも変更となりました。これからも時代の変化に合わせながら、市民の皆様により一層議会に興味を持っていただけるような紙面作りに努めていきます。

津市議会 あれこれ

令和7年6月2日に、公益財団法人反差別・人権研究所みえ 本江優子さんを講師に招き、ハラスメント防止研修を開催しました。たくさんの議員が参加し、ハラスメントを未然に防ぐための組織のルールづくりと自身の意識改革について学びました。



つ市議会だよりに対するご意見、ご感想は、議会事務局まで（下記所在地、電話番号等）

つ市議会だより 第78号

年4回発行（3月・6月・9月・12月）

編集◆議会だより編集委員会

発行◆令和7年9月1日／津市議会

津市西丸之内23番1号

TEL 059 (229) 3222

FAX 059 (229) 3337

Eメール◆229-3222@city.tsu.lg.jp

ホームページ◆https://www.gikai.city.tsu.mie.jp/

印刷◆共立印刷株式会社